

(社会教育) 美術・工芸

| 教材番号 | 題名 | 時間 | 内容 | 制作年備考 |
|------|--------------------------------------|----|---|-------|
| 4698 | 世界・美の旅 1 ルノワール ～世紀末の女達～ | 30 | 「ムーラン・ド・ギャレット」や「陽のあたる上半身」など、ルノワールの描いた女達を通して、19世紀という文明が新しく生まれ変わろうとしていた時代と、画家が描こうとした美の世界を探る。 | |
| 4699 | 世界・美の旅 2 セザンヌ ～12通の手紙～ | 30 | セザンヌは名声が高まってからも故郷南フランスのエクス・アン・プロバンスで人生の大半を過ごし、孤独な制作に没入しました。印象派から脱け、自然の存在感の把握に向かい独自の厳しい探求を重ねた彼の人間性とその世界を、彼をめぐる12通の手紙を紹介しながら伝えます。 | |
| 4700 | 世界・美の旅 3 モネ ～印象派の巨匠～ | 30 | 印象派という名前を生み出すきっかけとなった「印象・日の出」や「睡蓮」などをエピソードとともに紹介します。また、ヴェルニーなどゆかりの地を訪ね、印象主義絵画の最も果敢な実践者であったモネの視線を探っていきます。 | |
| 4701 | 世界・美の旅 4 マネ ～落選した名画～ | 30 | サロンの落選展に発表したマネの「草上の昼食」は、当時アカデミーの画家や批評家たちから良俗に反すると非難を浴びました。そのスキャンダルは美術界に衝撃を与え、後の印象派の画家達に影響を及ぼしています。このようなマネの制作の背景と、その時代を探っていきます。 | |
| 4702 | 世界・美の旅 5 ゴッホ ～アルルのひまわり～ | 30 | 南フランスのアルルではゴッホは次々と傑作を生み出しました。なかでも連作の「ひまわり」は特に有名です。彼はなぜ「ひまわり」を描いたのか、その背景を探りながら、ゴーギャンと共に暮らしたアルル時代のゴッホを描きます。 | |
| 4703 | 世界・美の旅 6 ゴーギャン ～野生へのあこがれ～ | 30 | フランス、ブルターニュ地方の港町ボン・タヴェンでゴーギャンは独自の単純化した輪郭線と平塗りの画法を生み出すきっかけを得ます。ゴーギャンの芸術の中で大きな位置を占めるこの町を訪ねこの地方の伝統の風習や色彩が彼に与えたものは何であったのかを探ります。 | |
| 4704 | 世界・美の旅 7 ミレー ～種まく人は今～ | 30 | ミレーの絵には自然の中で生きる人間の素朴な力強さと親しみ深さが描かれています。ここでは、中でも有名な「種まく人」を中心に、この絵が私たちに語りかけているものは何か、どんなエピソードがあるのか等、パリ郊外バルビゾンを訪ねながら探ります。 | |
| 4705 | 世界・美の旅 8 スーラ ～点描の画家～ | 30 | 科学的で斬新な点描画の技法は、画家スーラの手によって絵画に新たな世界を広げました。彼が好んで描いたパリやノルマンディの漁村を旅し、強烈な光、淡い昼光、華やかな夜の町の灯などスーラの点描主義の可能性への挑戦を追っていきます。 | |
| 4706 | 世界・美の旅 9 ブルシャンプルー ～世界を巡った謎の青～ | 40 | 1700年初頭にベルリンで錬金術氏達によって作られた絵の具「ブルシャンプルー」は一気に世界へ広がりました。アルル時代のゴッホ、ピカソの「青の時代」北斎の「赤富士」などを通して、「青」・ブルシャンプルーの魅力と謎に迫ります。 | |
| 4707 | 世界・美の旅 10 ピカソ ～若き日の天才画家～ | 30 | カルタニア文化のサロンとして存在した酒場クワトロガッツで、若き日のピカソは、多くの芸術家と出会い刺激を受けました。巨匠と呼ばれる前のピカソの青春時代を探り、またカタルニアの画家(ラモン・カザス、イシドロ・ノネイなど)も紹介します。 | |
| 4708 | 世界・美の旅 11 レオナルド・ダ・ビンチ ～永遠の微笑み～ | 30 | 万能の天才と呼ばれるダ・ビンチ。「モナ・リザ」に限らず彼の絵には、不思議な微笑みをたたえた人物がよく描かれています。彼のたどった足跡を追いながら、微笑みに込められた意味を探る。 | |
| 4709 | 世界・美の旅 12 ラファエロ ～聖母子の画家とその恋人～ | 30 | ルネサンス期を代表する天才の一人ラファエロの1枚の絵「ラ・フォルナリーナ」には、彼と下町の娘との恋物語が秘められています。彼女の足跡を追いながらラファエロの人間像を明らかにしていきます。 | |
| 4710 | 世界・美の旅 13 ベラスケス ～素顔の宮廷画家～ | 30 | スペイン・セビリア生まれの画家ベラスケスは、20代で王室に登用され、宮廷関係の肖像画を多く残しました。王女や国王と共に絵筆を持つ自分自身を描き込んだ「ラス・メニーナス」などの作品を紹介していきます。 | |
| 4711 | 世界・美の旅 14 ゴヤ ～魅惑のマハ～ | 30 | ゴヤは卓越した技量で肉體描写の傑作「着衣のマハ」「裸のマハ」を描きました。「マハ」のモデルとはいったい誰なのでしょう。諸説を紹介しながら、ゴヤの人間像に迫ります。 | |
| 4712 | 世界・美の旅 15 ルーベンス ～ネロの愛したルーベンス～ | 30 | ルーベンスはベルギーの宮廷画家として、明るい光に包まれた宗教画や人物画を描きました。「フランダースの犬」の少年ネロが仰ぎ見た、今もノートルダム寺院に残る「キリスト降架」の他「放蕩息子」などの作品を紹介します。 | |
| 4713 | 世界・美の旅 16 フェルメール ～静寂のフェルメール～ | 30 | 17世紀オランダの画家フェルメールが描いた作品は、現在30数点しか確認されていません。数少ない彼の生い立ちや生涯に関する資料をもとに、実像を求め生地デルフトを訪ねます。 | |
| 4714 | 世界・美の旅 17 ブリューゲル ～風景画に潜む寓意～ | 30 | ブリューゲルの作品の中には、一見牧歌的な風景の中に、様々な比喩や寓話が隠されています。圧政、宗教裁判、疫病や自然災害といった中性の実情を見つめながら独自の世界を描いた彼の作品を紹介していきます。 | |
| 4715 | 世界・美の旅 18 ロートレック ～世紀末の目撃者～ | 30 | 南フランスの名門の家に生まれたロートレックは、両足が不じゅうになって以降ますます絵画の世界にのめり込みます。彼は、歓楽の盛り場に身を置き、卓抜なデッサン力で世紀末に生きる人間達を描いていきます。 | |
| 4716 | 世界・美の旅 19 マリー・ローランサン ～私は贅沢が好き～ | 30 | パステルカラーに黒い瞳、優雅な色調の女性像を多く描いたマリー・ローランサン。パリの下町に生まれ、貧しい環境の中で育った彼女が目指した「贅沢」とは、いったい何であったのか? | |
| 4717 | 世界・美の旅 20 モディリアーニ ～瞳のない肖像画～ | 30 | 20世紀初頭、イタリアからパリに出てきたモディリアーニは酒と貧困の中で作画に励み、憂愁をたたえた独特の作風を完成しました。彼の描く瞳のない肖像画に込められた画家の思いを探る。 | |

(社会教育) 美術・工芸

| 教材番号 | 題名 | 時間 | 内容 | 制作年備考 |
|-------|--|----|---|-------|
| 4718 | 世界・美の旅 2 1 ボッティチェリ ～フィレンツェのヴィーナス～ | 30 | ルネサンス発祥の地フィレンツェのウフィツィ美術館にある有名なボッティチェリの作品「春」「ヴィーナスの誕生」。この絵のヴィーナスのモデルとなった美女シモネッタの影を春のフィレンツェに追います。 | |
| 4719 | 世界・美の旅 2 2 ティツィアーノ ～ヴェネチアの巨匠～ | 30 | ヴェネチアの縦横に走る運河沿いに建つサンタ・マリア・ディ・フラール教会に飾られたティツィアーノの「聖母被昇天」。エル・グレコを弟子に持ち比類なき技法を確立した画家の足跡と作品を探る。 | |
| 4720 | 世界・美の旅 2 3 レンブラント ～光と影の自画像～ | 30 | 17世紀のオランダの巨匠レンブラント。彼は、近代絵画に独自の明暗技法で多大な影響を与えました。集団肖像画、自画像を通して、様々な人間模様とオランダの市民社会を探っていきます。 | |
| 4721 | 世界・美の旅 2 4 ラ・トゥール ～甦った光の画家～ | 30 | 今世紀初頭に再評価された17世紀フランス絵画の巨匠ジョルジュ・ラ・トゥール。光の画家、夜の画家と呼ばれるラ・トゥールは、光をどのように捉えたのかを探ります。 | |
| 4722 | 世界・美の旅 2 5 クリムト ～愛と幻想のウィーン～ | 30 | 世紀末を激しく生きたグスタフ・クリムト。怪しげな金箔を散りばめ、オーストリア上流社会に退廃を見てしまった天才画家。何がクリムトに作品を描かせたのかを探ります。 | |
| 4723 | 世界・美の旅 2 6 ユトリロ ～悲しみの白～ | 30 | ユトリロの白はどこから来たのか。幼い頃からアルコール中毒に冒されていた少年を大画家にまでさせたものは何だったのか。哀愁漂うパリの裏町を描いたユトリロ。その白に隠された悲しみの秘密を探る。 | |
| 4724 | 世界・美の旅 2 7 ムンク ～叫びに込めたメッセージ～ | 30 | 誰も「叫び」という思い出すムンクの作品。どのようにしてあの歪曲の構図が生まれたのか。北欧の地を旅しながら、ムンクの生い立ちを探る。 | |
| 4725 | 世界・美の旅 2 8 ガウディとジュジョール ～彩りと造形のデュオ～ | 30 | ガウディの代表作サグラダファミリア教会。特に素晴らしいのは、ミロにも影響を与えたガウディの弟子ジュジョールのタイル技術です。またガウディとジュジョールの師弟関係とは。 | |
| 4726 | 世界・美の旅 2 9 クレー ～色彩の管弦楽～ | 30 | スイスのベルンに生まれ、美しい配合の色彩と無限の世界を創出したパウル・クレー。極めて几帳面な性格だったと言われているクレーの実像を彼の遺留品を通して探ります。 | |
| 4727 | 世界・美の旅 3 0 カンディンスキー ～抽象画の騎士～ | 30 | モスクワで生まれたカンディンスキー。移り住んだミュンヘンで、多くの文化人と共に過ごし、抽象画を確立していく、抽象画誕生の物語を描く。 | |
| 10272 | 世界の美術館 印象派スペシャル 印象派物語Ⅰ | 58 | 世界中で最も愛されている印象派の作品と画家たち。19世紀末、アカデミズムと戦いながらも新たな表現や技法を創り出し、絵画史における新たな道を切り開いていった彼らの感動の生き様を優しく楽しみながら映像でたどる。 | 2010 |
| 10273 | 世界の美術館 印象派スペシャル 印象派物語Ⅱ | 55 | 世界中で最も愛されている印象派の作品と画家たち。19世紀末、アカデミズムと戦いながらも新たな表現や技法を創り出し、絵画史における新たな道を切り開いていった彼らの感動の生き様を優しく楽しみながら映像でたどる。 | 2010 |